

資料 1 RPA を活用した実証事業の結果について

人口減少や少子高齢化が進む中、行政課題も高度化、多様化してきており、質の高い行政サービスを維持、向上させていくためには、定型的な業務の効率化を図り、政策的業務に注力できる環境を整備していく必要があることから、RPA（ロボティック プロセス オートメーション Robotic Process Automation）を活用した実証事業を実施しました。

1 自治体行政スマートプロジェクト事業

(1) 概要

総務省の委託事業の採択を受け、本市が窓口（幹事団体）となり、自治体クラウド構成団体（9市町村）において、福祉、税業務を対象に、高い効果が期待される業務を選定し、標準的な業務手順の策定とRPAの活用による業務効率化の検証を行いました。

(2) 対象業務と削減効果（年間）

業務名	現行業務時間	RPA導入後	削減効果	削減率
1 軽自動車税車両異動入力事務	1, 095時間	176時間	919時間	83.9%
2 税収納データ日次消込事務	393時間	40時間	353時間	89.8%
3 予防接種結果入力事務	846時間	460時間	386時間	45.6%
4 精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療判定結果入力事務	223時間	112時間	111時間	49.8%
5 保育認定・契約情報変更入力事務	183時間	72時間	111時間	60.7%
合計（A）	2, 740時間	860時間	1, 880時間	68.6%

2 市単独事業

(1) 概要

射水市独自に効果があると思われる業務について、RPAの活用による業務効率化の検証を行いました。

(2) 対象業務と削減効果（年間）

業務名	現行業務時間	RPA導入後	削減効果	削減率
1 施設稼働状況入力事務	1, 317時間	898時間	419時間	31.8%
2 国保高齢証発行処理事務	55時間	3時間	52時間	94.5%
3 国保月末集計処理事務	36時間	4時間	32時間	88.9%
4 要介護認定一次判定結果更新事務	45時間	12時間	33時間	73.3%
5 介護収納データ日次消込事務	212時間	53時間	159時間	75.0%
合計（B）	1, 665時間	970時間	695時間	41.7%

3 検証結果と今後の対応

今回実証を行った10業務において、RPAの活用により、年間2, 575時間（58.5%）の業務時間の削減が見込まれる結果となりました。

このことから、本市としては、今回実証を行ったRPAについて、来年度から本運用するとともに、来年度以降も新たな業務について効果検証を行いながら、RPAを活用する業務を拡充していきます。